

昭和63年度遺跡発掘調査概報

大岩田村ノ前遺跡

久玉遺跡

松原地区第Ⅴ遺跡

都之城本丸跡

貴船寺跡(尾崎第1遺跡)

1989

都城市教育委員会

天和二年八月廿三日
仲春昌年

前
坂本右衛門尉房清

北

昭和63年度遺跡発掘調査概報

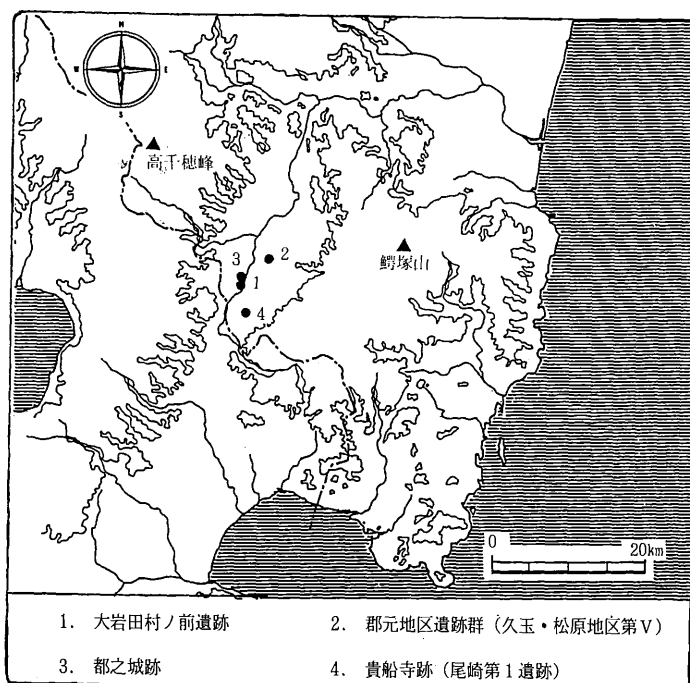
大岩田村ノ前遺跡

久玉遺跡

松原地区第V遺跡

都之城本丸跡

貴船寺跡(尾崎第1遺跡)



1989

序

この報告書には都城市教育委員会が昭和63年度に実施した5件の埋蔵文化財発掘調査の概要を掲載しております。

さて、近年の全国的な発掘調査件数の増加は目を見はるものがあります。都城市もその例にもれず、昭和59年度から現在まで20数件の発掘調査を実施しております。

本書に掲載した遺跡は大岩田町の大岩田村ノ前遺跡、郡元町の久玉・松原地区第V遺跡、都島町の都之城本丸跡、梅北町の貴船寺跡の5遺跡ですが、いずれも中～近世の都城盆地の歴史を知る上で貴重な資料を提供しています。

埋蔵文化財をはじめ郷土の文化財は生きた歴史教材として、広く市民に活用していただく必要があります。そのために本書は5か所の遺跡の調査によって見つかった遺構・遺物を写真図版を出来るだけ多く利用し、紹介しております。

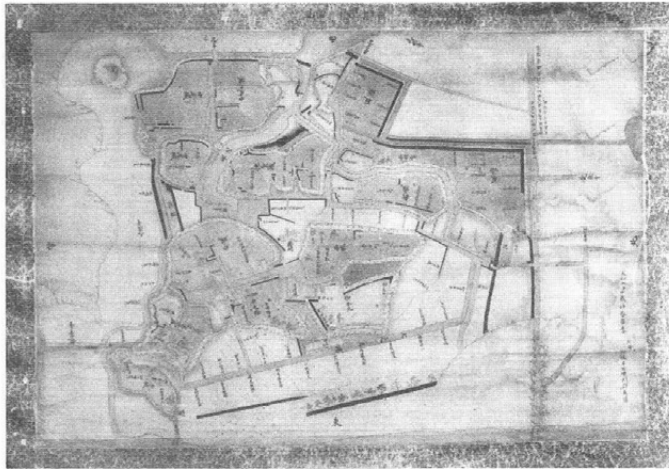
本書を通して市民の皆さんが埋蔵文化財に対して深い関心と愛情を寄せられることをお願いいたします。

最後になりましたが、発掘調査及び出土品整理の際、御指導いただいた先生方、発掘調査に従事して下さった作業員の皆様に深く感謝申し上げます。

平成元年3月

都城市教育委員会

教育長 久味木福市



〈表紙解説〉

都之城絵図

天和2年に都城島津家家臣、加塩半右衛門為清が書写したものを
大正8年益田玉城が写した、都之城絵図である。

例 言

1. 本書は昭和63年度に都城市教育委員会が実施した埋蔵文化財発掘調査の概報である。
2. 掲載した遺跡は都城市大岩田町所在の大岩田村ノ前遺跡，郡元町所在の久玉遺跡，松原地区第Ⅴ遺跡，都島町所在の都之城本丸跡，梅北町所在の貴船寺跡（尾崎第1遺跡）の5遺跡である。なお，巻末には昭和59年～63年度の都城市の埋蔵文化財発掘調査一覧表を掲載した。
3. 本書の執筆は各遺跡の調査担当者が分担してあつた。
4. 本書の編集は都城市教育委員会社会教育課が行つた。

目 次

| | |
|--------------------------------------|----|
| I. 本書掲載遺跡一覧表 | 1 |
| II. 本書掲載遺跡位置図 | 2 |
| III. 大岩田村ノ前遺跡 | 3 |
| IV. 久玉遺跡 | 6 |
| V. 松原地区第Ⅴ遺跡 | 12 |
| VI. 都之城本丸跡 | 14 |
| VII. 貴船寺跡（尾崎第1遺跡） | 17 |
| VIII. 都城市昭和59～63年度埋蔵文化財発掘調査一覧表 | 19 |

I. 本書掲載遺跡一覧表

| | | | | | |
|------|--------------------------|------|--------|-----|------------|
| 遺跡名 | 大岩田村ノ前 | 遺跡番号 | 5030 | 所在地 | 都城市大岩田町村ノ前 |
| 調査目的 | 斎場建設に伴う発掘調査 | | | | |
| 調査期間 | S.63.11.10~12.7 | 調査面積 | 4,500㎡ | 調査員 | 重永卓爾 |
| 遺跡名 | 久玉 | 遺跡番号 | 4006 | 所在地 | 都城市郡元町字久玉 |
| 調査目的 | 都市計画郡元・祝吉地区区画整理事業に伴う発掘調査 | | | | |
| 調査期間 | S.63.6.3~11.15 | 調査面積 | 7,000㎡ | 調査員 | 矢部喜多夫 |
| 遺跡名 | 松原地区第V | 遺跡番号 | 4005 | 所在地 | 都城市郡元町字松原 |
| 調査目的 | 都市計画郡元・祝吉地区区画整理事業に伴う発掘調査 | | | | |
| 調査期間 | S.63.~11.16~12.20 | 調査面積 | 2,500㎡ | 調査員 | 矢部喜多夫 |
| 遺跡名 | 都之城本丸跡 | 遺跡番号 | 5027 | 所在地 | 都城市都島町字本城 |
| 調査目的 | モデル木造建築物建設に伴う発掘調査 | | | | |
| 調査期間 | S.63.5.16~8.16 | 調査面積 | 1,500㎡ | 調査員 | 榎畑光博 |
| 遺跡名 | 貴船寺跡(尾崎第1) | 遺跡番号 | 7041 | 所在地 | 都城市梅北町字尾崎 |
| 調査目的 | 市営住宅建築に伴う発掘調査 | | | | |
| 調査期間 | S.63.8.4~10.4 | 調査面積 | 3,500㎡ | 調査員 | 榎畑光博 |

※遺跡番号は市内遺跡詳細分布調査の遺跡地名表によった。

Ⅱ. 本書掲載遺跡位置図

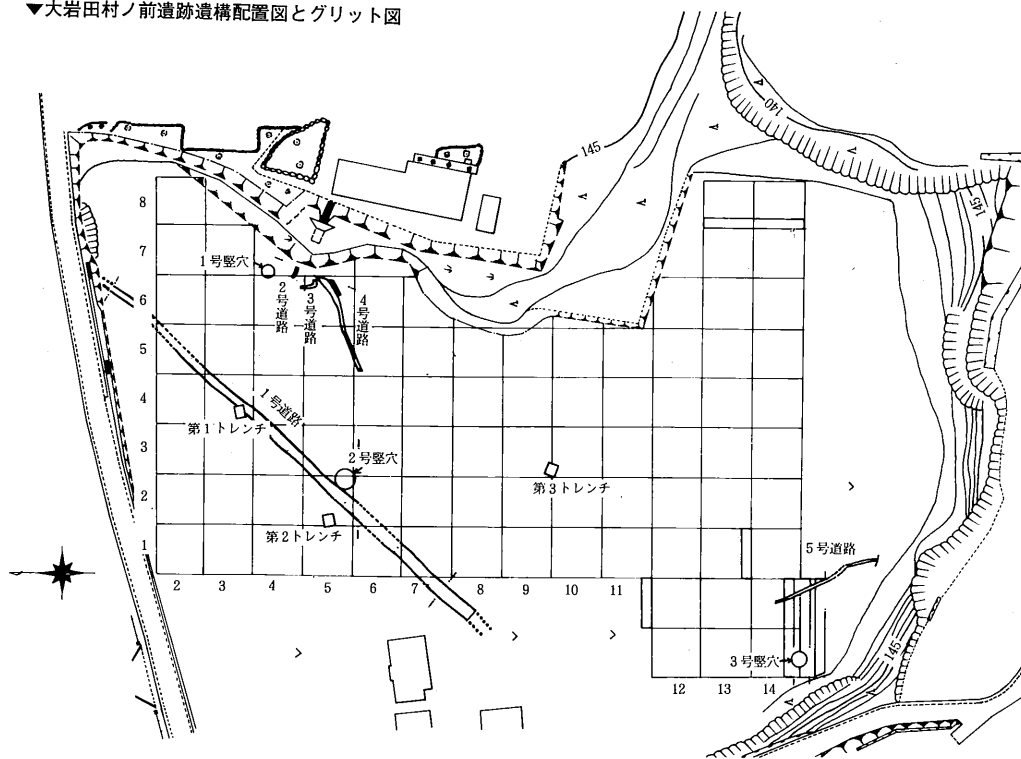


1. 大岩田村ノ前遺跡 2. 久玉遺跡 3. 松原地区第Ⅴ遺跡
4. 都之城本丸跡 5. 貴船寺跡 (尾崎第Ⅰ遺跡)

Ⅲ．大岩田村ノ前遺跡

大岩田村ノ前遺跡は大淀川と梅北川の合流地点より、南に約700m、低湿地との比高差約19mの台地縁辺部に位置する。今回の発掘調査で、縄文時代後・晩期のピット群、弥生時代中・後期のピット群若干が見いだされた。さらに、縄文後期と推定される道路3本、及び、古代から中世にかけての幹線道路1本、小規模のもの1本が検出された。これらの事実によって、この台地は縄文後・晩期より集落として利用され、古代末中世には幹線道路が敷設されていたものと考えられる。本地域は特に中世の南北朝期に境の城として大岩田城の存したところであり、また、北郷氏が都城を整備した戦国時代には、本城の城戸を結ぶ大岩田口に位置したところでもある。このように、この遺跡周辺は歴史時代には諸県郡と財部院の境にあり、交通の要衝にあっていた。本遺跡発見の1号道路は規矩性を有する幹線道路であり、この走行延長内にかつての駅家であった高津駅も存在したであろう。遺跡全般に耕作による地層の攪乱がみられたものの、縄文晩期の竪穴遺構、弥生中・後期の竪穴遺構の完掘は当該期における貴重な資料を提供し、また、松原遺跡に続いて文明軽石層の存在が本地域の中世遺跡の遺構検出や年代の決定に有効であることが再確認された。(重永)

▼大岩田村ノ前遺跡遺構配置図とグリッド図





▲縄文晩期2号竪穴遺構ピット内土器出土状況



▲O-14区 III層上部弥生土器底部出土状況



▲第II区 ピット群 (主に縄文後～晩期)



▲第I区 ピット群 (主に縄文後～晩期)



▲1号道路(12~15c)西南部の土層断面



▲1号道路文明軽石下覆土内出土の平安末期陶器片

▼1号道路文明
軽石下覆土内
出土



「天聖元宝」(北宋銅銭)と兩

▼1号道路を西南部から望む



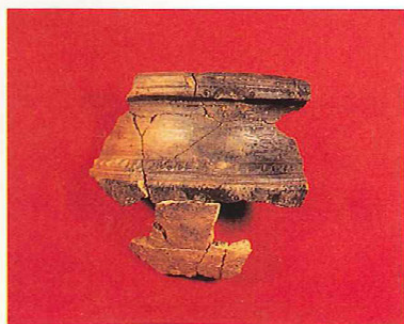
▲大岩田村ノ前遺跡全景 (西側上空から)



▲第2トレンチ出土の弥生土器



▲第2トレンチ出土の弥生土器



▲6-6区出土の縄文後期土器



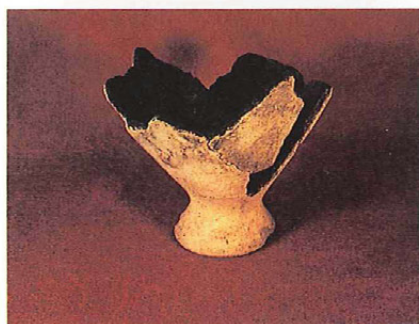
◀5-7区出土打製石斧(砂岩)



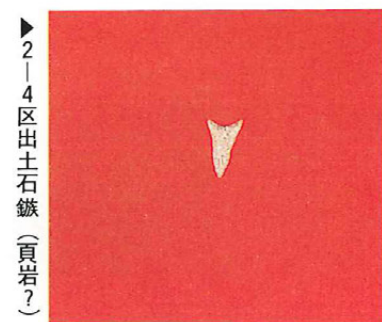
▶3号竖穴内出土の弥生土器



▲2号竖穴内出土の弥生土器



▲3号竖穴内出土黒髪式系甕形土器



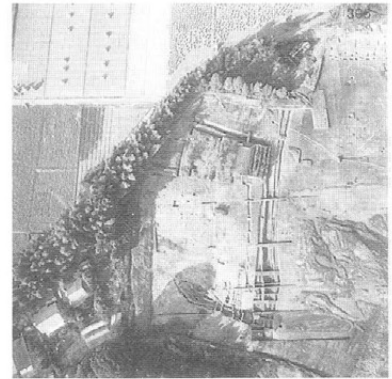
▶2-4区出土石鏃(頁岩?)

Ⅳ. 久 玉 遺 跡

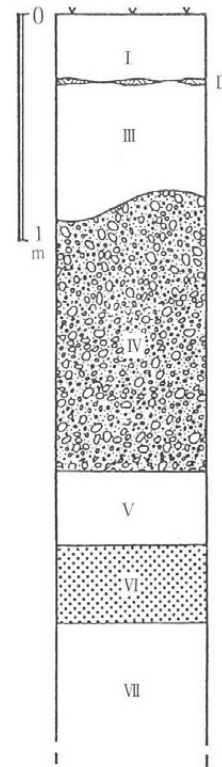
久玉遺跡は都城市街地を形成している台地の北縁に立地し、周辺には松原地区遺跡群がありこの郡元地区一帯が中世から近世にかけての遺跡である。当遺跡の基本土層層序は第Ⅰ層耕作土、第Ⅱ層白ボラ（文明期に桜島より噴出した軽石）、第Ⅲ層黒褐色土、第Ⅳ層御池ボラ、第Ⅴ層漆黒土、第Ⅵ層アカホヤ、第Ⅶ層明黒褐色シルト…と続く。遺物包含層は第Ⅲ層黒褐色土、検出面は第Ⅳ層御池ボラ上面である。出土遺構は大溝、溝、道路、掘立柱建物、井戸、竪穴遺構、土墳墓、ピット等で遺物は石鏃、古墳時代の土器、青磁、白磁、青花、染付、備前、東播系捏鉢、土師器、石鍋等である。

遺跡はおおよそⅢ時期に区分できるようで、その主体は自然地形を利用して「コ」字型に大溝を廻らした（推定）館跡で、この大溝によって区画された面積は推定6,000㎡程と思われる。館に付属するものとして大溝に近接して3号溝が、その内側に4号溝が内走している。他、5・6・7・9号溝、5号井戸、1号竪穴遺構が同時期に存在していたと思われる。館の存続時期であるが大溝や溝の埋土に白ボラが堆積していることから、文明（15世紀後半）以前であることは明らかで、堆積部位が中位であることから廃絶後かなりの時間が経過しているようである。

また、これより以前の遺構として1・2号溝、3号井戸と6号掘立柱建物等がある。次に以後（近世）の遺構として調査区域を南北に走行している道路と北東側に土墳墓群がある。（矢部）



久玉遺跡空中写真



基本土層 柱状図

久玉遺跡



36号土墳



近世土墳墓(左:人骨出土状況, 右:完掘状況)



4号溝白ボラ推積状況



1号土墳, 検出状況

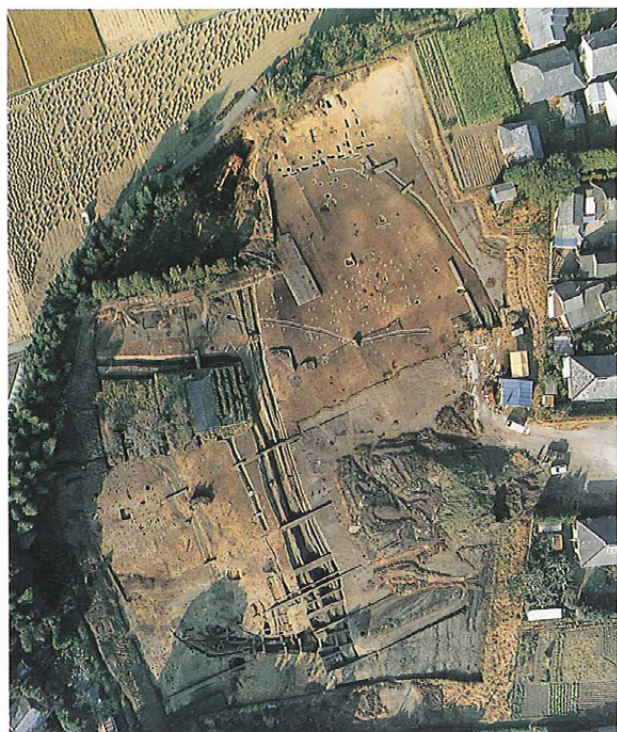


1号鑿穴(上:検出状況, 下:炭化材出土状況)

久玉遺跡全景



3号井戸





L・15 L・14 表版 F・9
 道路 道路 大溝
 D・7
 L・10
 E・9 K・15 K・13



G・6 L・13 F・12
 道路 L・14 H・15 大溝
 H・14 I・16 表版 G・7
 E・7
 H・16



J・16 大溝 I・14
 F・9 5号井戸 道路
 F・9 E・7 K・14 道路
 F・9 D・14

表版 M・16 K・12
 H・15 道路 大溝 大溝
 G・16 K・13 F・8 G・15 M・15
 L・13 E・8 2号整穴 G・15
 K・15 1号整穴 H・14 L・14

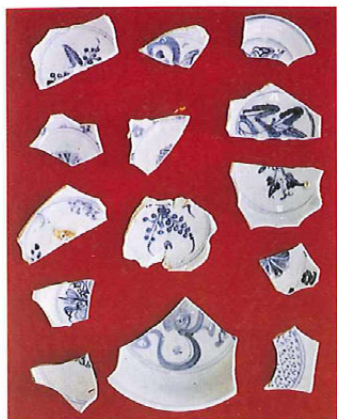
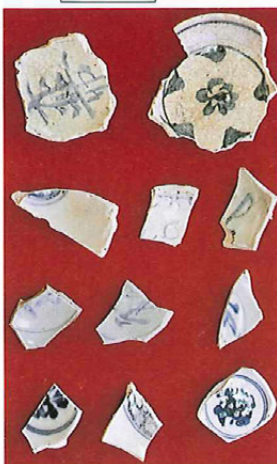
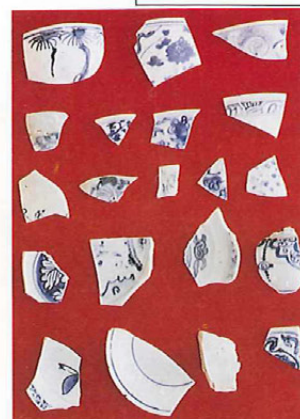


表
 I・14 L・14 H・16
 E・7
 K・15 L・14 L・14
 L・15
 K・13 L・15
 M・16
 K・15
 表 K・13
 H・14 K・14



K・15 K・14
 L・14 L・14 H・14
 L・14 L・14 H・15
 表版 L・14 G・16



裏
 K・14 K・13 H・14
 L・14 H・16
 E・7 表
 M・16 K・13
 L・14 L・14 K・15
 L・15
 K・15 表 I・14
 L・15



3号井戸



2号井戸 1号井戸
 2号井戸 3号井戸

1号溝



36号土壇



E・10



K・15 7号溝 J・16 K・14
 H・15



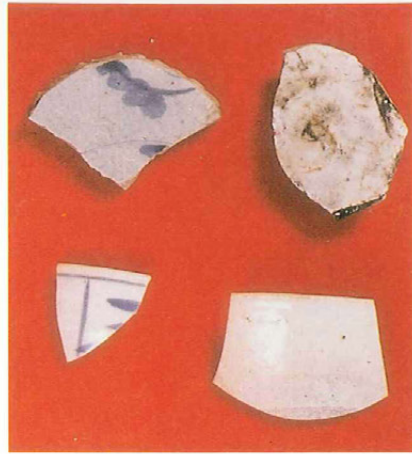
F・10



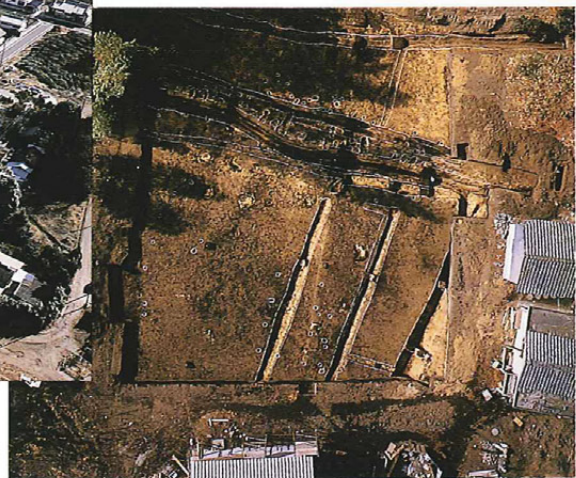
久玉遺跡遺構配置図

V. 松原地区第V遺跡

松原地区遺跡群は久玉遺跡と同じ市街地を形成している台地の北縁に立地している。当遺跡の北側に松原地区第IV遺跡が西側には松原地区第III遺跡があり、松原地区において第5次の発掘調査である。遺跡は中世から近世にかけての集落跡で遺構は掘立柱建物、井戸、大溝、溝等が遺物は青・白磁、国内陶磁器、土師器等が出土している。調査面積が2,000㎡程であったため遺跡の全貌を把握することはできなかった。(矢部)



主な出土遺物

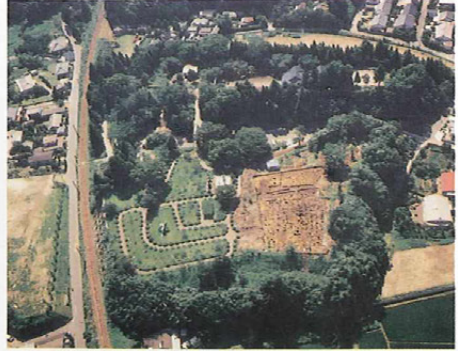


松原地区第V遺跡航空写真

Ⅵ. 都之城本丸跡

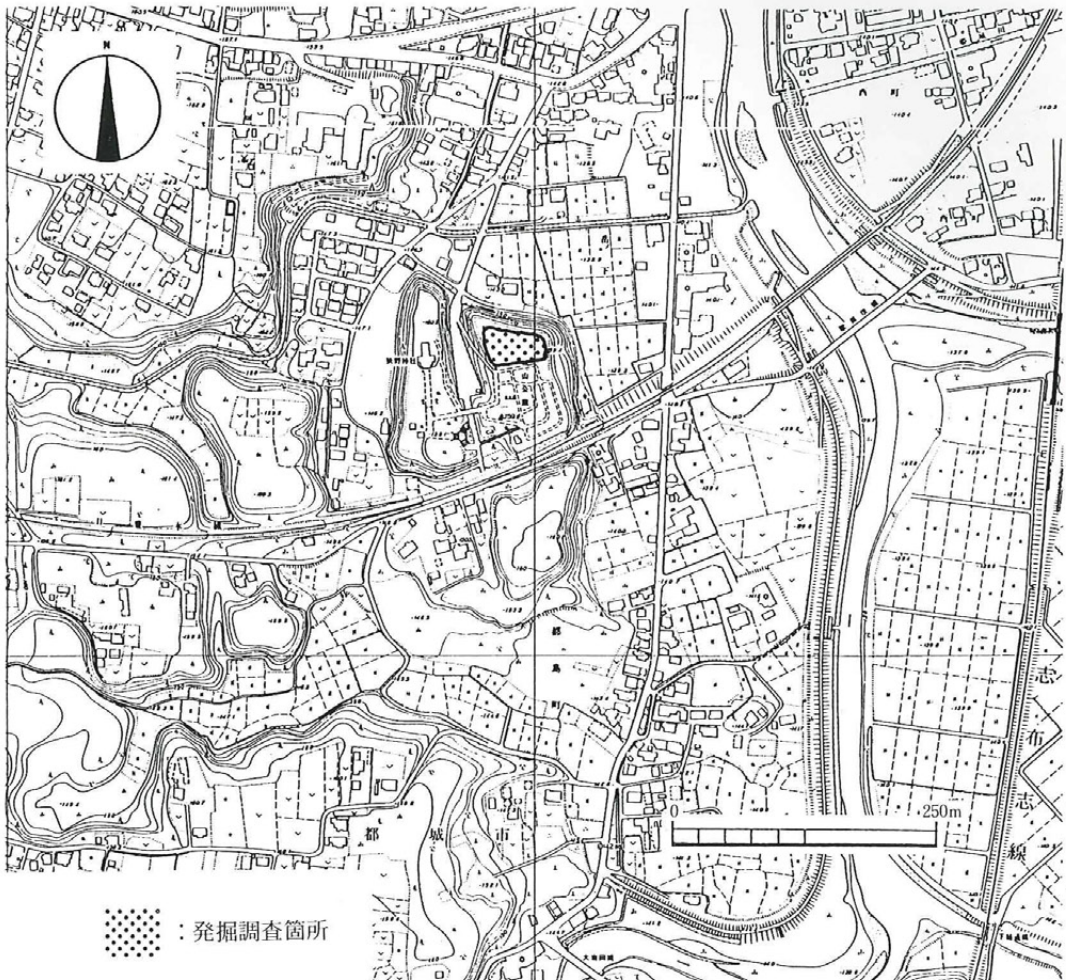
都之城跡は都城盆地の中央部、市街地を北流する大淀川西岸の台地東端に位置し、東側の水田面とは比高差約10mを測る。この城郭は北郷氏（都城島津氏）の都城盆地統一のための拠点であると同時に、島津氏の日向への前線基地という性格も有していた。

今回調査を行ったのは「本丸跡」と呼ばれている本城郭の主郭部の北側約1/3である。検出された遺構は、通路跡、柱穴内に礎石を持つ建物跡、墨書土器の埋納された地鎮・鎮壇の遺構や様々な形態の土壌等があり、14C後半～17C初の土師器をはじめ舶載や国内産の陶磁器が多数出土している。（柴畑）



▲都之城本丸跡を東側上空から望む

▼都之城跡周辺地形図



都之城本丸跡



◀遺構検出状況 (南から)



▲通路完掘状況 (南から)



▲3号通路西側軽石の石段



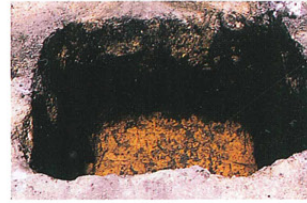
▲3号通路軽石の石垣



▲37号土坑 (円形タイプ)



▲700号ピット内青磁出土状況



▲64号土坑 (方形タイプ)



▲3号通路埋土内唐津焼出土状況



▲2号通路埋土内白磁出土状況



◀遺構配置図 (S=1/600)



▲1号通路軽石の石段



▲1号建物跡



▲1号建物跡柱穴内礎石



▲鎮壇遺構内輪宝墨描土器出土状況



▲2号建物跡



▲2号建物跡柱穴内礎石 (軽石)



▲青磁蓮弁文碗
700号ピット内出土



▲青磁酒海壺



▲飛青磁底部破片



▲白磁菊花皿
2号通路埋土内出土



▲染付



▲褐釉陶器(双耳壺?)



◀龍文壺破片



▲天目壺



▲常滑焼甕



▲備前焼各種
左上2点は甕、他はすり鉢



▲美濃焼



▲瀬戸焼



▲唐津焼鉄絵碗



▲唐津焼皿
3号通路埋土内出土



▲輪宝墨描土器 鎮壇ピット内出土



▲土師器各種

Ⅶ. 貴船寺跡（尾崎第1遺跡）

都城盆地の南部，梅北川（大淀川支流）東岸の南向きの舌状台地上にある。この地は「庄内地理志」を見ると貴船寺の存在が記されている。今回の調査によって，古墳時代の竪穴住居跡2軒，中世の溝状遺構4条，掘立柱建物跡2棟，中～近世の墓壇が合わせて144基発掘された。近世の墓地は貴船寺に伴うもので，埋葬の形式，墓壇の形態は様々である。近世の墓制を知る上で貴重な資料となる。う。（柴畑）



▲貴船寺跡航空写真



▲古墳時代1号竪穴住居跡



▲古墳時代埴形土器出土状況



▲鎌倉～室町時代溝状遺構 右から1号, 2号



▲鎌倉時代2号掘立柱建物跡

〈墓地の調査〉



▲墓壇群完掘状況（調査区東側）



▲墓標墓壇（軽石）68号墓



▲墓標墓壇（ギョウカイ岩）62号墓



▲墓標墓壇（上部はギョウカイ岩，下部は軽石）32号墓



▲墓壇上部の墓標 52号墓
側面「寛保三癸亥正月十二日」
正面「？山榮壽居士」

— 埋葬形式のいろいろ —



▲139号墓（方形タイプ）
床面に銅製の金具が検出された。



▲111号墓（隅丸方形タイプ）



▲140号墓（円形タイプ）



▲41号墓（二段掘りタイプ）



▲37号墓（横穴タイプ）



▲5号墓（薩摩焼半胴の甕棺）
内部より、歯、六道銭が検出された。



▲50号墓 人骨出土状況
顔は西側を向いて座っていたものと考えられる。



▲35号墓 人骨出土状況
下部に箱式木棺の底板が残存し、その表面に銅銭が3枚付着していた。



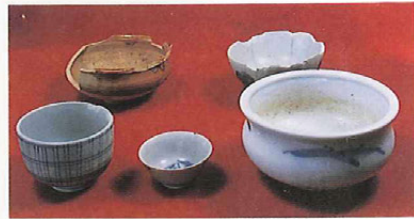
▲45号墓 櫛出土状況



▲54号墓 土鈴出土状況



▲中世の青磁各種
中世の溝状遺構や包含層内から出土した。



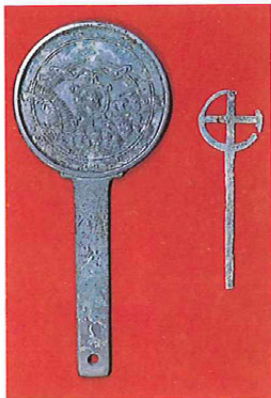
▲墓壙内出土陶磁器（湯呑、香炉、茶碗）
薩摩焼や肥前系磁器が用いられた。



▲墓壙内出土仏飯器（薩摩焼）



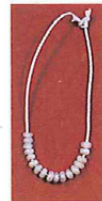
▲墓壙内出土煙管
市内郡元町所在の松原地区第Ⅲ遺跡で
鋳物工房址が発見されている。



◀鏡とかんざしかんざしは一〇〇号墓出土



▲墓壙内出土銅銭（六道銭）
どの墓からも7枚ぐらい
ずつ出土している。右上の
ものは棺の木材に金具で
留めてある。



▲数珠
59号墓内
直径3mm

Ⅷ. 都城市 昭和59～63年度埋蔵文化財発掘調査一覧表

| 遺跡番号 | 遺跡名 | 所在地 | 調査年月日 | 調査員 | 時代 | 備考 |
|-------|------------|--------------------|------------------|----------------|----------------|----|
| 未定 | 菓子野地下式横穴墓 | 菓子野町9457-1 | S.59.5.24～5.28 | 矢部喜多夫 | 古墳 | |
| 10028 | 築池地下式横穴墓 | 下水流町字築池 | S.59.7.24～7.27 | 〃 | 古墳 | |
| 4005 | 松原地区 | 郡元町字松原 | S.60.4 | 〃 | 中～近世 | 確認 |
| 4005 | 松原地区第Ⅰ | 郡元町54他14筆 | S.60.7.9～11.22 | 重永 卓爾 矢部喜多夫 | 中～近世 | |
| 4005 | 松原地区第Ⅱ | 郡元町字松原 | S.60.10 | 矢部喜多夫 | 縄文・中世 | |
| 4010 | 祝吉第3遺跡 | 早水町字天神原、池島、祝吉 | S.60.12 | 日高 孝治 | 中世 | |
| 6009 | 中尾山・馬渡 | 蓑原町1624 | S.61.5.12 | 矢部喜多夫 | 古墳～中世 | 確認 |
| 6005 | 尻 枝 | 南横市3888-1 | S.61.5 | 北郷 泰道 | 弥生～古墳 | |
| 6009 | 中尾山・馬渡 | 蓑原町1624 | S.61.7.17～12.26 | 矢部喜多夫 | 縄文・弥生・古墳・平安・中世 | |
| 4005 | 松原地区第Ⅲ | 郡元町54-5 | S.61.8.4～9.30 | 寺師 雄二 | 中～近世 | |
| 10065 | 堂 山 | 丸谷町2351-1 | S.62.5～62.6 | 矢部喜多夫 | 縄文・古墳・中世 | 確認 |
| 4005 | 松原地区第Ⅳ | 郡元町3105、3106、3107 | S.62.5.20～6.30 | 桑畑 光博 | 中～近世 | |
| 5033 | 宮尾・立野 | 今町7020-1 | S.62.11.30～12.5 | 矢部喜多夫 桑畑 光博 | 「五十市式土器」出土遺跡 | 確認 |
| 7079 | 安久中原 | 安久町字中原 | S.62.12.7～12.10 | 〃 | 縄文 | |
| 6029 | 母智丘原第1 | 横市町6.691 | S.63.1.18～1.23 | 桑畑 光博 | 弥生・平安 | |
| 6006 | 加 治 屋 | 南横市町2066-21 | S.63.1.25～2.1 | 矢部喜多夫 桑畑 光博 | 弥生 | |
| 7041 | 貴船寺跡(尾崎第1) | 梅北町字尾崎 | S.63.3.10～3.12 | 矢部喜多夫 | 中～近世 | 確認 |
| 5027 | 都之城本丸跡 | 都島町803 | S.63.3.15～3.17 | 桑畑 光博 | 中世 | 確認 |
| 4006 | 久 玉 | 郡元町3101、3102、3062 | S.63.3.28～3.31 | 矢部喜多夫 桑畑 光博 | 中～近世 | 確認 |
| 4012 | 向 原 | 三股町大字宮村字植木2945他10筆 | S.63.4.21～4.30 | 矢部喜多夫 | 弥生 | 確認 |
| 5027 | 都之城本丸跡 | 都島町803 | S.63.5.16～8.16 | 桑畑 光博 | 中～近世 | |
| 10028 | 志和池1号墳 | 下水流町2554 | S.63.5.31～6.4 | 矢部喜多夫 | 古墳 | 確認 |
| 4006 | 久 玉 | 郡元町3060他16筆 | S.63.6.3～11.15 | 〃 | 古墳・中～近世 | |
| 5030 | 大岩田村ノ前 | 大岩田町5449他6筆 | S.63.8.1～8.5 | 〃 | 弥生・中世 | 確認 |
| 7041 | 貴船寺跡(尾崎第1) | 梅北町1423、1424、1425 | S.63.8.4～10.4 | 桑畑 光博 | 縄文・古墳・中～近世 | |
| 10065 | 堂山(北地区) | 丸谷町2351-1 | S.63.10.20～12.13 | 〃 | 古墳・平安 | |
| 5030 | 大岩田村ノ前 | 大岩田町5449他6筆 | S.63.11.10～12.8 | 重水 卓爾 | 縄文・弥生・中～近世 | |
| 4005 | 松原第Ⅴ | 郡元町3114、3115、3116 | S.63.11.16～12.20 | 矢部喜多夫 | 中～近世 | |

※遺跡番号は市内遺跡詳細分布調査による。

※「確認」とは試掘調査のこと。

都城市文化財調査報告書第10集

昭和63年度遺跡発掘調査概報(図録)

大岩田村ノ前遺跡・久玉遺跡
松原地区第V遺跡・都之城本丸跡
貴船寺跡(尾崎第1遺跡)

発行年月 平成元年3月
発行 都城市教育委員会
印刷 (有)文昌堂

